

キラリスト ちよつと聞かせて!



今回のキラリストは、「音楽にふれたい、出会いたい、そして懐かしい歌を気軽に歌いたい」という思いから活動されている「直美の部屋」の三好フミコさんとそのメンバーにお話を伺いました。

「直美の部屋」のネーミングの由来は、平成17年4月14日の第1回コンサートで、チェロとピアノの演奏者から記念にお名前を一文文字ずついただき「直美」とされ、「部屋」と続けたのは「徹子の部屋」のように永く続き、ホームコンサートのような雰囲気音楽が楽しめるようにと考え、合わせて「直美の部屋」と名付けられたそうです。

コンサート運営活動のきっかけと始まりは、気軽に生演奏を聴きたいという思いから、ペアシティ三原東館天満屋三原店(平成18年閉店)に置かれた由緒あるグランドピアノをお借りし、コンサートを開いたことが始まりだそうです。メンバーとの出会いは、皆さん音楽が大好きで、20年前にお互いのボラン

ティア活動を通して出会われたとのことです。そして、天満屋三原店閉店のために、コンサート会場は、ペアシティ三原西館2階市民ギャラリーになりました。

駅前には、どこからでも集まりやすく、商業施設などもあり、利便性に富んでいます。回を重ねるごとに他市からも生演奏を楽しみに集まってくださる方が増え、嬉しく思っています。

1回もかかさず継続できた秘訣と、これからの展望については、「コンサートに快く出演して下さる演奏者の皆さんを応援したい。たくさんの人に気軽に生演奏を楽しんでいただきたい。『みんなで三原を音楽の街に』との願いを持ち活動を続けたいと思います。」と語っていただきました。

毎回コンサートのおわりには、市歌や懐かしい歌を会場みなさんと歌い、和やかであたたかい雰囲気で会場が包まれます。

おわりに、聞かせていただいた好きな言葉は、『笑顔は人生の最も美しい花と言われています。』第64回目のコンサートを終わられてお話を伺いました。素敵で穏やかな中に、心意気を感じたキラリストたちでした。



直美の部屋 代表
三好フミコさん

編集 後記

編集仲間の方々にもいつも助けられ、なんとかがんばっています。原稿を書いていると色々な気づきがあります。よい機会を与えていただきありがとうございます。(松本)

第1号からたくさんの出会いと学びがあり、第10号目になりました。感謝を込めてお届けします。(村上)

情報誌を通し、男女共同参画社会が、市民に浸透し、一人ひとり尊重しあえる社会になることを願っています。(長谷部)

ウィズユーがあなたの未来づくりを考えるきっかけになれば幸いです。(丸山)